

第3学年 道徳学習指導案

平成22年6月3日(木)

第5校時

在籍児童数 男子20名女子19名計39名

- 1 主題名 自分らしさ 内容項目1－(5)
- 2 資料名 「今日のヒーロー」 (出典 埼玉県道徳教育指導資料)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、中学年内容項目1－(5)「人にはそれぞれ長所や短所があることに気付き、自分の長所をさらにのびし、よりよく生きていこうとする態度を養う」ことをねらいとしている。

この内容項目の「個性の伸長」は低学年内容項目(2)自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかり行うや(3)よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う、などの指導を通して育まれている。さらに高学年では「(5)自分の特徴を知って、悪いところを改めよいところを積極的に伸ばす」、中学校では「(5)自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。」に発展していく。

この項目は、さまざまな道徳的価値の側面から自分を見つめて、人間としての自分の成長の可能性と課題を実感できるようにすることが大切となる。それは人間としての誇りを自覚することであり、自尊感情を育むもととなる。よさを特定のものに限定するものでなく、すべての成長の可能性をよさととらえ、大きな視野でみられるようにしたい。

自分の特徴を知るには、よいところに加えて努力すべきところにも気付いていくことが必要であるが、中学年の発達段階では短所ばかりにも視点が向きがちである。が、努力し改め、よいところを更に伸ばしていくことが、自分のよさを生かすことであることに気付かせることが重要である。これは個々の子どもが「自分らしさ」や「自分の生き方」を考える上でも大変重要である。

更に個性を伸長させていくには、目標を掲げ目標達成に向けて努力を重ねることが必要である。人とのかかわりの中で、人にはそれぞれ長所や短所があることを気付かせ、自分の長所をさらに伸ばし、よりよく生きていこうとする価値にせまりたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、集団生活のきまりを守ったり、人に親切にしたりするなどが自分からできる児童が多く、基本的な生活習慣もほぼ身につけている。その一方で、自分本位な行動によって周囲の友達に迷惑をかけてしまったり、心を傷つけてしまったりしたことに気付かずにいる児童も時折見かけられる。子ども達が自分の長所や短所に気付くためには、様々な人とのかかわりが有効である。学級での友達とのかかわり合い、家族とのふれ合い、地域の人々との交流の中で、自他を認め、自分のよさに気付けるようにしていきたい。

児童に行った意識調査では次のような結果であった。

〈調査日 平成22年5月26日 調査人数37人〉

- 1 あなたは友だちの「よいところ」に気付くことがありますか。

はい 30人 いいえ 7人

- 2 あなたは自分の「よいところ」に気付くことはありますか。

はい 31人
いいえ・わからない 6人

以上のことから、本学級児童は友だちや自分の「よいところ」を見つけたり、認められたりする児童が多いが、自信がない児童もいることがわかる。また、「よいところ」とは何か、価値付けができなかったり、自分の短所ばかりが意識されたりする児童もいるようである。いつも一緒に遊ぶ仲のよい友だちの「よいところ」もわからない児童もいた。

そこで本時は、「よさ」とは何か考えながら、他からの働きかけによっても自分の「よいところ」を肯定し、更に伸ばしていこうとする意欲を喚起したい。

(3) 資料について

本資料は、自分のよさに気付かず、自分のよさを模索している主人公まゆみが、お母さんの言葉を通して自分のよさに気付いていくという話である。「自分のよさ」ということについて、あまり気付かない子ども達も、友だちや家族の人と話し合うことを含め、「自分のよさ」というのをじっくり考えさせたい。また、まゆみは図書室で同級生が自分のよさを伸ばそうとしている姿に感心し、自分も長所を見つけようとするがなかなか見つからず、悩んでしまう。ここでは、主人公まゆみの言動に共感させ、長所を見つけ、「自分のよさ」への気づきを促すことができるようにし、長所を伸ばして行こうとする前向きな生き方に気付かせたい。

主人公のように、自分自身に向き合い、前向きな気持ちになれずに落ち込んでしまうことは、誰にでもあることである。自宅で悩む主人公の姿と自分自身を重ね合わせることで、児童一人一人に改めて自分自身をふり返らせたい。そして、どの児童も自分の「よいところ」を見つけることができ、前向きに生きようとする態度を育むことができるようにしていきたい。

4 研修主題とのかかわりと他の教育活動等との関連

研修主題 「生きる力」をはぐくむ小中一貫教育の推進 ～人とかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする子どもの育成～

(1) 研修主題とのかかわり

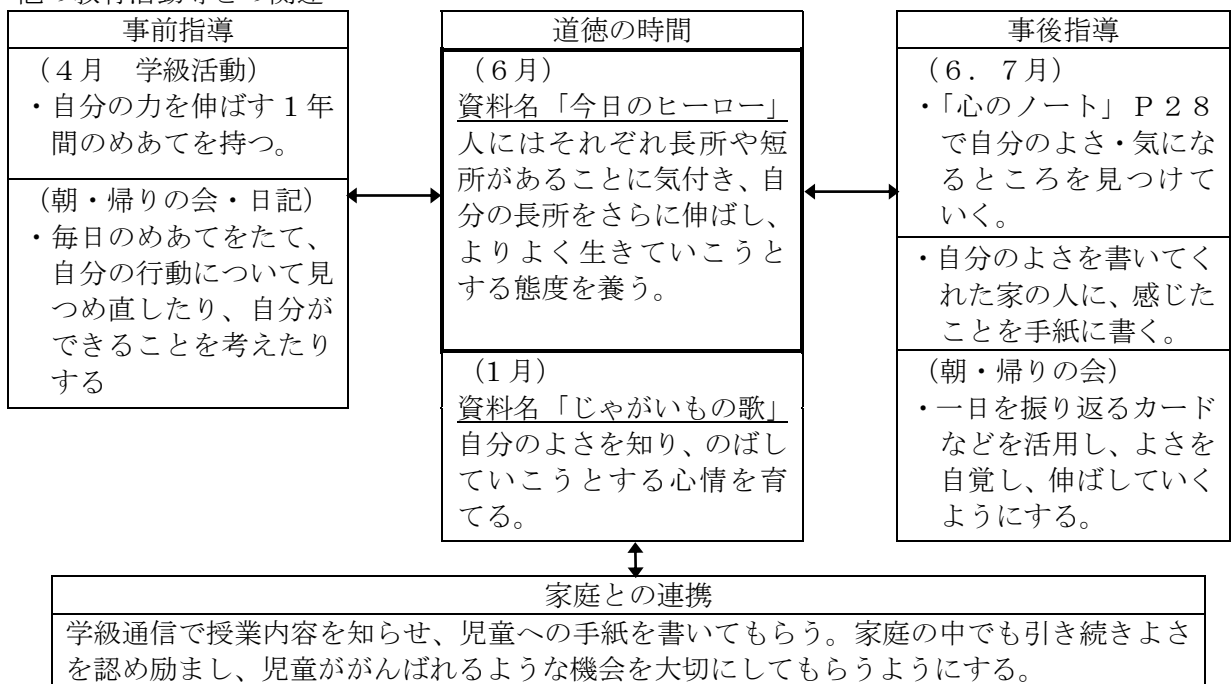
〈小中一貫教育の視点から〉

「いいところを見つけよう」を意識し、友達のよさや自分のよさを正しく・上手に「伝える」「読み取る」活動を設定する。さらに友達とかかわりの中で、その長所を伸ばし、努力すべきところをあらためられるような態度を身につけさせたい。

〈「人とかかわりを大切にする」視点から〉

本時では、「自分のよいところ」＝長所に気付かせることを、自分だけでなく、「人とかかわり」の中で気付かせるように配慮する。また、自分のよさに気づき、他のよさも認める機会を、朝や帰りの会、他教科の授業の中で意図的に設定する。そして、互いに認め合い、共に高めあおう、よりよく生きようとする子どもを育成したい。

(2) 他の教育活動等との関連



5 本時の学習活動

(1) ねらい

人にはそれぞれ長所や短所があることに気付き、自分の長所をさらに伸ばし、よりよく生きていこうとする態度を養う。

(2) 展開

		学習活動（主な発問）	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆◇評価（評価方法）	時間 資料
導 入	気 づ く	1 アンケート結果を知らせ、「よいところ」について考えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなよいところがあるんだな。 ・自分のよいところはわからない人がいるんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や人の「よいところ」について気づき、資料への橋渡しとする。 	3分
展 開	と ら え る	2 資料について条件・状況を知り、教師の範読を聞く。 3 心に残ったことを発表する。	登場人物： まゆみ（主人公）、洋子 まゆみのお母さん スタートの条件・状況： 図書室で洋子が自分のよさを伸ばそうとしている姿に感心し、自分も長所を見つけようとするがなかなか見つからず、悩んでしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ・まゆみの気持ちになりながら聞かせる。 ・範読を聴きながら、心に残ったところに線を引かせる。 ◇心に残った場面を見つけ、話し合う意欲を高めることができたか。（観察・発表） 	10分
	深 め る	4 主人公の心の変化を中心に、話し合う。 (1) 洋子の話を聞いてまゆみはどう思っただろう。 (2) なかなか自分のよさがみつからないまゆみはどんな気持ちだっただろう。 (3) お母さんにどんな気持ちで「いいところをみつけたよ」と伝えたのだろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・すごいなあ。えらいなあ。 ・わたしにはできないな。 ・わたしには何ができるのかな。 ・どうしよう ・わたしにはいいところがないんだ。 ・わたしのいいところってどこだろう。 ・だれか教えて。 ・自分のわるいところは見つかるけれど。 ・わたしにもいいところがあるんだ。 ・お母さんが教えてくれたほかにも、いいところがあったよ。 ・じぶんのいいところをもっと伸ばそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本を読むことが好きな洋子が、それを生かして読み聞かせをしている話を聞き、洋子の生き方に感心しているまゆみの気持ちを考えさせる。 ・自分のよさがみつからず、悩んでいるまゆみの気持ちに共感させる。 ・自分にも長所があることがわかり、前向きに生きようとするまゆみの気持ちをとらえさせる。 ☆主人公の気持ちになって、自分の考えを深めることができたか。（つぶやき・発表） 	20分

	見つめる	5 今日の学習をふり返り、プリントに自分の長所を書き込み、自分をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にもいいところ「長所」が見つけれられた。 ・長所はこれからどんどん伸ばして行こう。 ・長所が見つからないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人にはそれぞれの長所や短所があることに気付かせる。 ・長所をみつけにくい児童は友だちからの助言をもらおう。 <p>◇自分の長所を見つけ、それを伸ばすことの意欲付けができたか。(観察)</p>	7分
終末	あたためる	6 家族からの手紙を全員に渡し、読ませる。	<ul style="list-style-type: none"> ・そんなことを思っていたくれたんだ。 ・うれしいな。 ・これからもがんばろう。 ・ありがとうを言いたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からのメッセージを読み、自分にも長所があることに気付かせ、自己理解を深める。 ・感じたことなどを発表させる。 <p>☆家族からの手紙を読み、自分のよさに気付くことができたか。(発表・観察)</p>	5分

6 評価の観点

☆主人公の気持ちになって、自分の考えを深めることができたか。(観察・プリント)

◇自分の長所を見つけ、長所を伸ばすことの大切さを感じさせることができたか。(発言・観察)

7 板書計画

わたしにもある
いいところ

場面絵
お母さんに話すまゆみ

まゆみはどんな気持ちでお母さんに話したのだろう。

場面絵
悩むまゆみ

自分のよさを見つけられないまゆみはどう思っただろう。

場面絵
図書室の洋子の様子

洋子の様子を見て、まゆみはどう思っただろう。

登場人物

まゆみ (主人公)
洋子
まゆみのお母さん

今日のヒーロー

8 資料分析

場面	キーワード	主人公の心の動き	発問・話し合い
<p>帰りの会で「今日のヒーロー」で洋子さんを発表した場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばっていた友だちをみつけ、発表しあう ・「今日のヒーロー」 		
<p>図書室で洋子さんが下級生に読み聞かせをしているところを見かけた場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生に本を読んであげていた。 ・福祉施設に行って…読んであげる ・目を輝かせながら話してくれました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・りっぱだなあ。 ・わたしにはできないな。 ・わたしには何ができるのかな。 	<p>○洋子の話を聞いてまゆみはどう思っただろう。</p>
<p>自分のよさが何かわからず、主人公まゆみが悩んでしまう場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人はだれでも必ずいいところがある ・わたしのいいところってなんだろう ・お母さんが心配そうに話しかけてきました 	<ul style="list-style-type: none"> ・本当かな。 ・わたしにあるのかな。 ・だれか教えて。 ・自分のよくないところしか見つからない。 ・どうしよう。 	<p>○なかなか自分のよさが見つからないまゆみはどんな気持ちだっただろう。</p>
<p>お母さんの言葉を聴き聞いて、まゆみは自分にもよいところがあったことに気付く場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・たけしくんを…なかにまにいれてあげた ・おばあちゃんに…毎日病院に通ってくれた。 ・まだまだあるわよ。 ・自分でもよさがしてごらん。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしにもいいところがあるんだ。 ・うれしい ・お母さんありがとう ・ほかにもよいところがあるかもしれない。 ・だれにでもよいところはあるんだな。 	<p>○自分のよさを教えてもらったまゆみはどんな気持ちだろう。</p>
<p>夕食の時、自分自身でよいところを見つけることができた場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしのいいところ、ほかにも見つけたよ。 ・じゃあ、今日のわがやのヒーローはまゆみね。 ・あしたが待ち遠しくなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしのよいところが見つかってよかった。 ・自分のよいところをもっとつくりたい ・他にもあるかな。 	<p>○お母さんにどんな気持ちで「いいところを見つけたよ」と話したのだろう。</p>